

若い力で明日を創る！

次世代経営者育成塾 門真次世代アタック会

11月8日開催された第2章第11回セミナーの報告です。

(株)カタ技術において、先ず統計・分析やトレサビリティについて村岡ADが経験を交えて話をし、今後の経営のキーとなるIoT絡みの計測とバラツキについて考えてみました。



←ものづくり補助金で導入した自動計測器

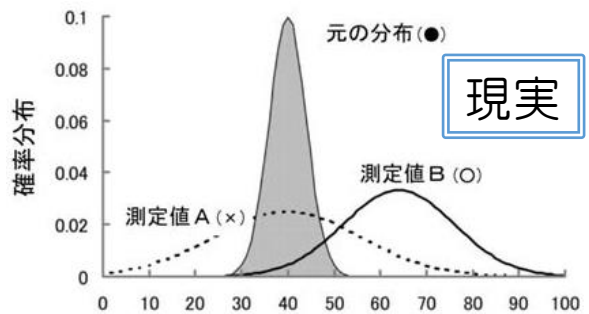
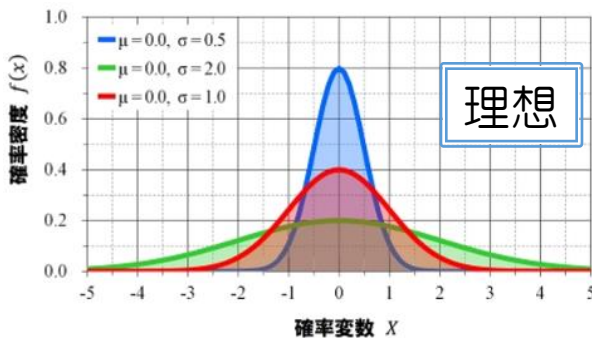
人は経験・判断力を駆使して臨機応変に対応可能ですが、反面ミスを犯しやすいものです

ものづくり企業のIoTは、人間の作業を機械に極力置き換え、省力化と共にミスを極小化します。

しかし、自動機を導入すればそれでOKというわけではありません。

測定の場合などは正規分布に従うバラツキが多く存在しますので、

事前にデータ分析をして精度や判定基準を調整しなければなりません。



「統計」というと難しく感じますが、エクセルで簡単に分析できます。実際に計測してみて、皆さん成程なあと感じられたようです。



↓実演風景



片山代表、ありがとうございました！
次回は兄さんの、牧野精工(株)牧野社長と一緒に
経営判断と悩みについて考えてみましょう！

